

広島県商工労働局産業振興施策公募型プロポーザル選定委員会  
(令和5年度「ひろしまユニコーン10」プロジェクト環境整備業務)  
議事要旨

広島県商工労働局産業振興施策公募型プロポーザル選定委員会

令和5年度「ひろしまユニコーン10」プロジェクト環境整備業務公募型プロポーザルについて、次のとおり審査した。

1 会議の概要

開催日時	令和5年5月8日(月) 13:30~14:05
開催場所	オンライン
開催方法	ZOOM
出席委員名	広島県 商工労働局 イノベーション環境整備担当部長 川野 真澄 広島県 商工労働局 新産業創出担当部長 空田 賢治 広島県 商工労働局 イノベーション推進チーム担当課長 (イノベーション環境整備担当) 門永 吉章 広島県 商工労働局 イノベーション推進チーム担当課長 (地域産業デジタル化推進担当) 金田 典子 公益財団法人ひろしま産業振興機構 常務理事 大内 貞夫
議題	令和5年度「ひろしまユニコーン10」プロジェクト環境整備業務のプロポーザル審査について
担当部署	商工労働局 イノベーション推進チームイノベーション環境整備グループ スタートアップ企業創出担当

## 2 議事要旨

### ○ 審査基準及び結果等

広島から世界に大きく急成長することを志すスタートアップ企業等を集積させ、企業のニーズや成長段階に合わせた支援を実施するという観点から「5（1）アクセラレーションプログラムの運営」、企業の成長に必要な支援者や、支援者ネットワーク等に繋げることによって、その挑戦を後押しするという観点から「5（3）（4）国内外VC向けマッチングイベントの開催、VCネットワークの構築」、またそれらを十分に遂行できる能力と体制になっているかに重点をおいて審査を行った。

審査基準	審査の項目	配点 ウエイト	応募者	評価及び選定理由
			A	
5（1）アクセラレーションプログラムの運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務遂行にあたって具体性・妥当性</li> <li>・支援能力</li> <li>・特色ある提案</li> <li>・企業の発掘</li> <li>・継続性・発展性</li> </ul>	150	120.0	類似事業の実績が豊富な点、専門家を多数配置している点などにおいて、十分な業務遂行能力を有していると評価できる。
5（2）マッチング、オープンイノベーション等に資するイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻き込み力</li> <li>・継続性・発展性</li> </ul>	45	35.0	県内の主なスタートアップ支援機関の巻き込み、イベント内容に工夫がみられる点などにおいて、業務成果を期待できる。
5（3）（4）国内外VC向けマッチングイベントの開催、VCネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体性・発展性</li> <li>・継続性・発展性</li> </ul>	60	44.6	本プロジェクトに係る仕組みの構築についての提案において、やや具体性が見受けられないが、国内外の新規連携先が提案されており、継続的なVCネットワークの拡大を期待できる。
5（5）海外展開支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続性・発展性</li> </ul>	15	8.4	提案の中にやや具体的な連携や事業支援の内容が読み取れないが、海外ネットワークの活用及び連携先、イベント開催を予定などしており、仕様書で求めている水準に達している。
5（6）各種申請等のサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施体制</li> </ul>	15	9.6	やや具体性が乏しいが、各種申請をテーマとしたイベント開催などを予定しており、サポートを期待できる。
5（7）スタートアップ・企業情報のリスト作成及び管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施体制</li> </ul>	30	24.0	突発事案の対応について体制に若干の不安はあるものの、仕様書で求めている内容に基づく評価フロー及び著名な有識者を配置するなど、業務成果を期待できる。

5（8）事務局及び統括マネージャー等の設置	・具体性・妥当性	35	26.6	豊富な実績・ノウハウと専門チームが配置されている点、昨年度の課題を踏まえた体制となっている点などが評価できる。
全体を通じた評価項目	・実施体制 ・熱意 ・予算経費及び内訳	50	38.6	豊富な専門家の配置、フォロー体制、首都圏でのノウハウを広島でも浸透させる強い思いを感じる点などから、目標達成に向けた意気込みが伝わり評価できる。
合 計 点 数		400	306.8	目標設定、専門家の配置、十分なメンタリング回数等が確保されている点、統括マネージャーのコミットメントや熱意など、昨年度の成果と課題を踏まえた提案となっており、総じて評価できる。

※本結果は、5名の委員の平均点によるものである。